



QFN通信

Qshu Forest Network News

NPO法人 九州森林ネットワーク

巻頭文 理事長 佐藤宣子

NPO九州森林ネットワーク会員の皆様、明けましておめでとうございます。新年のご挨拶も兼ねて、QFN通信の第3号をお届けします。

今年はオリンピックの年です。ホップ、ステップ、ジャンプと当NPO活動も跳躍の年になるよう、理事のみなさんと協力して会の運営を行っていききたいと存じます。どうぞ、ご協力を宜しくお願い致します。

本号では、4月に開催する第5回九州森林フォーラムin上津江「きやどんの論楽会～森林を守る！」の案内を掲載しています。環境に配慮した森林経営のあり方について積極的に発言され、FSC森林認証の日本初の取得者でもある速水亮氏の基調講演も決定しました。パネルディスカッションでは九州の山々で活躍する「きやどん」や五ヶ瀬川の流域環境保全の活動家にも加わって頂き、森林を守る技術や担い手のことなどについて大いに語り、九州内に広がっている無秩序な森林伐採問題にも一石を投じたいと考えております。お誘い合わせの上、是非、フォーラムにご参加下さい。

皆様にとって、本年がよい年になりますように。



ネットワークキャラクター
「やまと熱人(ネット)」君 愛称決定!



第3号 since2005.6.1

発行日 2006. 1. 1

<発行>
NPO九州森林ネットワーク
本部：大分・上津江町
<編集責任>
宮崎・諸塚オフィス
<担当オフィス>

目次

第4回九州森林フォーラム	2～3
大盛況でした!	
Blogぶろぐブログ	4
会員Web訪問③	5
サテライトNEWS	6
気になる木になる情報	
ネットワークオフィス名簿	7
会員募集案内	
第5回九州森林フォーラム	8
のお知らせ	

フォーラムの結果報告 ～第4回九州森林フォーラムは大盛況でした！

第4回九州森林フォーラムは「九州の家のつくり方・結び方」をテーマに、木材の消費地であり、九州の木材の相場を決めるとも言われる長崎で開催されました。四国で地域材を使った家づくりを展開しているNPO法人「木と家の会」代表の戸塚元雄氏と根岸徳美氏による基調講演や、九州での「木の家」のつくり方や山と町の結び方などに関する事例発表や、討論会があり、これからの九州での家づくりのヒントになるものが多いフォーラムとなりました。

<1日目 10月28日（金）>

■長崎の家づくりの現地見学

- ・com_hausモデルハウス：事例発表の規格型産直住宅見学
- ・ながさ木の家モデルハウス：長崎県産地域材の家を見学
- ・諫早市けやき台団地：民家型構法による家づくりの先駆です。20年前の案件ながら、周囲の風景に馴染み、木の家風格さを感じられました。



■意見交換会

九州各地から集まった皆さんで有意義な意見交換を行いました。

<2日目 10月29日（土）>

■基調講演 「地域材の家のつくり方・結び方～提案型の家づくりについて～」

四国で地域材を使った提案型住宅「サンゲンカク」を展開しているNPO法人「木と家の会」代表の戸塚元雄氏と、根岸徳美氏による、木材の規格化や、サンゲンカクについての基調講演をしていただきました。四国の山を守る為に、どのように地域材を使った家づくりを進めているか、事例を含めお話し頂きました。山と町が共通の言葉となる“寸法”で材料の受渡をする為に木材の規格化を進めたことや、サンゲンカクの家は出来上がったときに終了ではなく、住み手の変化に応じて変化・成長するものであること、また、木の家づくりを進める為に山や環境に関心の薄い人も取り込める魅力的な家づくりの必要性など、経験に基づいた具体的な指針を頂きました。



長崎フォーラムの様子

■事例発表

地域材を使った家づくりに関わっている事業者による、進め方や問題点、将来像についての発表が行われました。

- ・「地域材の家づくり・小国型健康住宅の事例」小国町役場 長谷部公博氏

平成13年に小国町が地域資源の需要拡大とピーアールを目指して福岡市に建設したモデルハウスの事例を通して、物をつくるためには、そこまでのプラン作りや、関わる人の意識改革が大事であることについて発表が行われました。

- ・「企画型住宅による国産材普及の事例」(有)公方建設 岩本清壺氏

アレンジや完成後の手入れがしやすく、コストを抑えた「コムハウス」を提案し、若い層を中心に木の家に関心のない人も惹き込む家づくりについての報告が行われました。

- ・「都市型工務店による森林と環境を守る運動の事例」(株)安成工務店 安成信次氏

「呼吸する家」づくりへの取り組みから始まった、山と町との連携やトレーサビリティ、環境に優しい町づくりなどの事例を含め、地域の工務店だからこそできることや、取り組み続けることの大切さについての発表が行われました。

■徹底討論会

「木の家」づくりに関わる6名をパネリストに迎え、家づくりの進め方や方法について、一般参加者からの活発な意見も交えた討論会が行われました。

フォーラムに参加して..

★基調講演講師 戸塚元雄様

フォーラムでは大変お世話になりました。「認証は山の意識を変えるために必要だ」という言葉は心に残りました。古酒も美味しかったし、いい夜でした。
四国とは違う取り組みを知り、私たちの今後の活動に幾つかのヒントもいただきました。交流会・フォーラムを通じ、皆様の腰の据わった発言に感銘を受けました。根岸君も私もすっかり九州人ファンになってしまいました。来年は会員として参加したいと思っています。

★基調講演講師 根岸徳美様

10月には、九州森林ネットワークのフォーラムにお招きいただきありがとうございました。九州の人たちとお会いでき、活動のご様子を拝見できて本当によかったと思っています。サンゲンカクが、「住宅建築」12月号に特集されました。フォーラムでうまくご説明できなかった分、お読みいただければ幸いです。建築に関わった人たちも大勢載っています。

★事例発表講師 岩本清壺様

昨年10月に行われたフォーラムは、私の地元、長崎で行われるということで、少しプレッシャーではありました。また、コムハウスの事例発表までさせていただき、佐藤理事長はじめ、ご協力いただきました皆様には感謝いたしております。

フォーラムに参加された方々は、森林や家造りのプロばかりということで少し緊張はしましたが、コムハウスのコンセプトである、「国産材を意識させない」「つくりすぎない」「コンパクトにまとめる」の主旨はお話できたかと思えます。

フォーラムの前日に com_205 wp を見学され方々は、これが「産直住宅か?」と思われたことでしょう。むしろ、そう思っていただけなのであれば、私としてはある意味成功ではいかと思えます。なぜなら、コムハウスは国産材といったカテゴリーを意識しない、「無党派層のための家」だからです。

現在、すでに建築してある5棟に関しましては、プロトタイプにしかすぎませんが、今後は材積を増やした新たな com_haus にむけて改良していきたくと思っています。

「家を建てる時には、近くの木をつかうのがあたりまえ。」

建築のジャンルを問わず、あらゆる建物の中で日本の木が使われていくこと。これが一番望ましい形ではないかと常々思っておりましたが、それを強く再認識できたフォーラムでした。

主催者より

九州森林ネットワーク副理事長 矢房孝広 (諸塚村) ●●

徹底討論会は拙い司会でしたが、暖かいご声援ありがとうございました。

前半の無党派層への木材の普及策は、徹底してこだわりで進めるのか、妥協してまず少しでも一般化することで一歩前進をはかるのかという議論を、建築家と工務店の視点の違いで炙り出したかったところです。結局、両方向から攻めて、共に意識し、否定しあわずに、住まい手にそれぞれの視点で提案できる選択肢をつくる努力をするコンセンサスを取るのが狙いでした。

後半は、皆さんの積極的な意見で助かりました。ブランド材の問題は少し木材産地の都合ばかり言ってしまいましたが、提案型の家づくり、山からの家づくりの発信方法、規格化の問題、トレサビリティーの問題、はたまた集成材の問題と、山、工務店、建築家、行政、一般ユーザーなど様々視点からひとつひとつの課題を検証できたのは有効でした。普通は、山だけ、設計士だけ、工務店だけの空虚な観念論になってしまいがちなところですが、相互理解が具体的な突破口になるのではと期待しています。他にもいろんな視点や切り口で今後につなげていきましょう。

遠方いらしてくれた戸塚さん、根岸さんには感謝の限りです。ご多忙の中出席の安成社長、地元でご尽力いただいた岩本理事、積極的に前面に出られた長谷部さん、急遽無理なお願いを快諾いただいた神崎課長補佐…皆さんありがとうございました。またいい議論ができると良いですね。

大分県・山国川流域森林組合とのタイアップ企画が始まって、はや1年が経過しようとしています。この1年を振り返る意味で、時折ブログで「森林組合に、私はこんなことを感じた」的なことを、綴らせていただければなあ、と思っています。

山と町の妥協点の歩み寄り

まずは「回想1 妥協点」。

妥協、というと聞こえは悪いのですが、モノゴトを進める上で、何かしらの妥協点というか見切り点、というものは必要だと思っています。今回、このコロコロボックスを作り上げる過程で、森林組合との最初のジレンマに陥ったのは、互いの妥協点の違い。

「もう少し、ねばりましょう」

「もう一息、がんばりましょう」

を繰り返して、どうにかこうにか目標レベルに到達しました。自分の娘くらいの年頃の女に、ネチネチ、グチグチ。重箱のシミをつつかれるようなことばかり言われて、森林組合の方々にも、かなりストレスが溜まったことと思います。

でも、この試練の道を乗り越えたおかげで、森林組合も私も、事前に互いの思惑を推測できるようになり、コロコロ・シリーズ2作目の新商品「積木BOX」は、完成まで6ヶ月という短期間で商品化することができました。（桑野／大分）



<コロコロボックス>

ミウラクワノパートナーシップ（MKP、大分市）と山国川流域森林組合とのタイアップ商品で、かわいいスギのボックス家具です。大分県の情報誌にも掲載されるなど今密かなブームです。

M K P <http://homepage2.nifty.com/mkp/info.htm>

山国川流域森林組合 <http://yamakuni-kawa.main>

地域の森林を守り、街と山を繋ぐ上で森林組合の役割は大きいのですが、えっなに？と思うことが多々あります。その点きちんとした方がいいと思います。

この妥協点をどこにおくかというのは本当に大事だと思います。普通の商品を提供する上で当たり前のことをクリアーして始めて、環境のことも語らないと・・・昔、経済学で学んだ、商品が販売されるというのは「命がけの飛躍だ」という言葉を思い出しました。

（佐藤/福岡）

モノを売ることは「命がけの飛躍」

その通りだ！と、私も思います。

売れる商品を作るために苦しみ、作った商品売るために苦しむ。

なぜなら、売らないとご飯が食べられないから（笑）。

この辺の「必死さ」を森林組合に求めるのは厳しいですが、

【物売る】以上、森林組合も消費者の厳しい洗礼を、避けては通れないですね。

この洗礼から「逃げる」か？「挑む」か？・・・挑むしかないでしょう。（桑野/大分）

村田理事のWeb「建築工房 自然木」

<http://homepage2.nifty.com/jinenmoku/>

今回紹介するのは、鹿児島市内で設計事務所と建築工房を運営している「建築工房 自然木」の村田義弘理事のWebです。

本業の建築に関して、過去の物件や現在取り組んでいる物件はもちろん、設計の経緯、現場の進捗状況について詳しく掲載しているほか、たくさんのメディアの紹介記事が見れます。また釣り仲間のリンクもあり、理事の多彩な趣味が伺えます。

自然素材にこだわった家造り
環境にやさしい家づくり
あなたも一緒に考えてみませんか？

以下で、村田理事の木の家づくりの情熱が結実した鹿児島県北薩地区の家づくりのWebに掲載されている文章を転載します。

「北薩の山々は豊かな緑に包まれ、動植物の多く生息する森は力強い生命観に溢れています。出水・野田の麓集落に代表される北薩の町並みは近くの山の木で造った家々から成り立ち、現在まで、我々の生活を守り、心を育み、人々に愛され、時を重ねる中で豊かな表情を持ち続けてきました。

環境共生の視点が求められるこの時代に、「近くの山の木で家を造る」事の意味とその豊かさを再度見直したいと思います。先人から受け継いだ木材を使って家を造り、次の時代の人々のために、木を植え管理する。木は成長する間、綺麗な空気を生成し、美味しい水を育む森を形作ります。人工的エネルギーを殆ど使わないエコロジカルな建設資材生産システムです。戦後、私たちの祖父母、両親が植えた杉や桧が育ち、切り時を迎えています。いっしょに山を訪ねて見ませんか。」



九州森林ネットワークのBlog

NPO九州森林ネットワークの「山と緑の最新情報」Blog。環境教育、緑の雇用、Uターン、ワーキングホリデー、山のつばやき、自然派住宅、室内環境etc…。九州の山と街のリアルタイムの情報が満載です。是非ご覧ください。

<http://www.geocities.jp/shinrin9net/>

.....

諸塚村「森林・木材認証フォーラム」開催！



環境の世紀21世紀に入り、環境に配慮した行動が全世界の共通認識となり、G8サミットでも、環境に悪影響をもたらす違法伐採対策の国際的な合意がなされたほか、森林の適正な管理を担保する森林認証制度が世界的に広がっています。これからは、環境を悪化させる施業を排除し、適正に管理された森林資源をユーザーが積極的に活用するエコロジーな認証製品の流通が期待されています。このフォーラムは、生産者とユーザーの相互理解のもと、人に身近な木材、社会に実際に使われる木材を、山と街が一緒に考え、新しい流通を生み出し、そしてみんなで地球を守ろうという試みの一つとして開催されます。是非ご参加ください。

名 称 森林・木材認証フォーラム

「森も木も認証の時代がやってきた！」～地球を守る木を身近なものに～

場 所 宮崎県諸塚村

日 程 平成18年1月27日（金）～28日（土）

主 催 諸塚村、諸塚村森林認証研究会、耳川広域森林組合

共 催 宮崎県、群馬県、山梨県、京都府、岩手県岩泉町、奈良県川上村、全国森林組合連合会、北海道下川町森林組合、岐阜県東白川町森林組合、高知県檜原町森林組合他

後 援 林野庁、熊本県、NPO九州森林ネットワーク、FoE Japan、ウッドマイルズ研究会、FSC日本推進協議会設立準備局他
プログラム（敬称略）

<27日 13:30～17:00>

基調講演 「(仮)認証の時代を読む」(社)全国木材組合連合会常務理事 藤原 敬

ワークショップ NPO穂の国森づくりの会（愛知県）

NPO緑のダム北相模（神奈川県）

諸塚村産直住宅推進室（宮崎県）

意見交換会・交流会 17:30～

<28日 09:00～12:00>

森林資源のCOC認証活用戦略講習会

①「通信販売市場における認証製品の可能性」(株)カタログハウス取締役 竹本徳子

②「認証木材製品の流通戦略～グリーン購入法の実際」FoE Japan 三柴淳一

③「世界初！村ぐるみの認証シイタケ流通システムの構築」諸塚村シイタケ部会

④認証商品の展示会～全国各地域の認証商品プレゼンテーション・展示会

（グリーン購入対象品、エコロジー商品、バイオマスほか木のクラフト等を含む）

気になる情報・木になる情報

長崎でのフォーラムに関連して、マスメディアで取り上げていただきました。

①西日本新聞（平成17年11月7日付）で、第4回九州森林フォーラムのルポが2面にわたり取り上げられました。フォーラムでのディスカッション内容も詳細に記されています。

②熊本日日新聞（平成17年11月4日付）で、九州森林フォーラムで取り上げられた熊本と長崎の地域産材住宅への行政支援策の記事が掲載されました。

同紙では、昨年「植栽放棄、日本林業の今」を長期連載中です。戦後日本全土で競うように植栽されたスギ・ヒノキの人工林が伐採され再造林されずに放置されている状況を「森が消える」として、日本の林業の構造的な問題を取り上げた異色の企画で、林業の問題を社会問題として捉える出色のルポが続いています。

くまにちコム<http://kumanichi.com/feature/syokusai/>で読めます。

九州森林ネットワークオフィス一覧

<本部>大分・上津江 (株)トライ・ウッド内 TEL0973-55-2657 0973-55-2323
〒877-0311 大分県日田市上津江町大字川原2810-1 trywood@fat.coara.or.jp

<サテライトオフィス>

福岡(理事長):佐藤宣子 九州大学大学院農学研究院内 TEL092-642-2876 092-642-2877
〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 sato@ffp.kyusyu-u.ac.jp

熊本・小国町森林組合内 TEL0967-46-2411 0967-46-5474
〒869-2501 熊本県阿蘇郡小国町宮原1802 oguni@galaxy.ocn.ne.jp

宮崎・諸塚村産直住宅推進室事務局内 TEL0982-65-0178 0982-65-0189
〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068 ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

福岡・久留米:西村敏彦 西村工務店 TEL0943-72-2256 0943-72-3996
〒839-1234 福岡県久留米市田主丸町豊城585 info@morino-ie.com

鹿児島:村田義弘 自然木 TEL099-812-5701 099-812-5701
〒892-0023 鹿児島市永吉町2-29-3 jinenmoku@nifty.com

長崎・大村:岩本清彦 (有)公方建設 TEL0957-53-1142 0957-53-9532
〒856-0048 長崎県大村市赤佐古103-4 iwamo@kubou.com/

沖縄:小渡勝也 (株)幸和 TEL098-936-9231 098-936-2667
〒904-0102 沖縄県中頭郡北谷町字伊平417-1 odo@tokukei.com

福岡市 川崎建築構造設計事務所内 TEL092-574-8544 092-574-8545
〒811-1303 福岡市南区折立町3-7-206 kawa2892@joho-fukuoka.or.jp

北九州市:(有)ウッドエイ工房内 TEL093-692-5430 093-692-1975
〒807-0875 北九州市八幡西区浅川台1丁目5番 k-shimasaki@woody-koubou.com

大分市:三浦逸朗 ミウラクワノパートナーシップ(有)/プラス・エコ TEL097-504-3087 097-504-3088
〒870-0901大分市西新町1-3-5サンビル1階 RXA04312@nifty.ne.jp

北九州市:(株)安成工務店内北九州支店 TEL093-475-2323 093-475-2335
〒800-0226 北九州市小倉南区田原新町2丁目4番1号kitakyusyu@yasunari.co.jp

熊本・八代:球磨川ライン木の家ネット TEL0965-35-8430 0965-35-8431
〒866-0081 八代市植柳上町683-5 (株)井本工務店内imotokmt@vesta.ocn.ne.jp

佐賀:三原ユキ江 (株)三原建築設計事務所内 TEL0952-22-0051 0952-22-0054
〒840-0041 佐賀市城内1-10-30 mh_yukie@hotmail.com



事務局から会員募集および更新のお知らせ

2年度目の会員の更新手続きと、年会費のご入金を頂きまして、ありがとうございます。
新規に入会をご希望の方、まだ更新がお済みでない会員の方もよろしくお願ひ申し上げます。

★第5回森林フォーラム in 上津江のお知らせ★

九州森林ネットワークのオフィシャルWEB
<http://www.geocities.jp/shinrin9net/>

- 開催日：平成18年4月14日（金）～15日（土）
- 会場：大分県日田市上津江町 上津江振興局
- テーマ：「きやどんの論楽会～森林を守る！～」

山で働く人々を日田地方では「きやどん」と言います。「きやどんの論楽会～森林を守る！～」は、「森の音楽会」ではなく、「森の論楽会」として山で働く「きやどん」と森林づくりについて大いに語ろうという企画です。

現在の山の現実は一層厳しく、山で働くきやどんの働く職場の環境も悪くなっているといわれています。町の人々には森林の重要性の理解を広がっていますが、今山で何がおこっているのか、森林に関係する山の人々が何を求めているのか、町では何をすべきなのかということがうまく伝わっていません。

難しい問題ですが、口をつぐんでしまうと何も変わりません。次の時代に眼を向けて、木を育て、伐採し、利用するという、つまり林業が地球や地域環境にとって不可欠で、求められている循環型の社会に貢献する環境産業になりうるのだと、それぞれの言葉で町の人に伝え、ネットワークを築くことが求められます。

「きやどん」は寡黙に森林を伐採し、口べたな方々が多いと思われていましたが、外に発信する力を持ち、環境に配慮した林業のあり方を真剣に考える、頼もしい「きやどん」も大勢います。山村ではまだまだ古い慣習やしがらみも多い状況にありますが、環境保全を考慮した林業家や事業者にとっては、現場で働く「きやどん」の知恵や技能は不可欠です。

フォーラムでは、日本で初めてFSC森林認証を取得された速水亨氏をお招きし、経営者の立場から環境と林業そして働き手達の役割について基調講演をして頂きます。その後、九州各地のきやどん達と環境保全活動家・土井裕子氏を交えてのパネルディスカッションの予定です。

- 主催：熊本山仕事仲間の会・NPO 法人九州森林ネットワーク
- 共催：NPO法人木林乃森を守るネットワーク
- 後援：大分県日田市・熊本県小国町・宮崎県諸塚村・小国町森林組合・耳川広域森林組合・(株)トライウッド・大分県・熊本県・宮崎県・福岡県（いずれも予定）
- 宿泊：「ペンション丸太ん坊」 大分県日田市上津江町笹野 tel 0973-55-2003
- 参加費 フォーラム参加費 1,000円 宿泊費（交流会費・朝食代含）8,000円
交流会のみの参加費 3,500円 15日弁当代 500円
- 基調講演 速水 亨 氏（速水林業代表）

■プログラム

- | | | | | |
|----------|-------|---|-------|-------|
| 4月14日（金） | 13:30 | 受付開始 | 14:00 | 現場見学会 |
| | 18:30 | 交流会・夜なべ談義 | | |
| 4月15日（土） | 9:30 | 受付 | | |
| | 10:00 | 九州森林フォーラム 開会挨拶 | | |
| | 10:15 | 基調講演 速水 亨 氏 | | |
| | 11:45 | 質疑応答 | | |
| | 12:00 | 昼食 | | |
| | 13:00 | パネルディスカッション
(パネリスト：速水亨氏・土井裕子氏・きやどんのみなさん) | | |
| | 15:30 | 閉会 | | |